

ご記入（チェック）のうえ、検診当日にご持参ください。

整理番号

健診機関使用欄

健診日

胃がん検診受診希望の方へ（質問票）

胃がん検診を安全に実施するため、質問項目のチェック欄に✓が付いた方は、胃がん検診を受けることができません。

質問項目	チェック欄
1 バリウム検査でアレルギーや体調不良を起こしたことがある	
2 消化管の穿孔（穴が開いた）、腸閉塞、腸捻転、大腸憩室炎の既往がある	
3 胃を全て切除している。または小腸・大腸の手術をしている（十二指腸潰瘍の手術は除く）。2ヶ月以内に大腸内視鏡手術（大腸ポリープ切除等）をした。	
4 開腹手術を3回以上している（腹腔鏡手術も含む）	
5 胃・十二指腸・小腸・大腸の病気で治療中である	
6 1年以内に手術した（腹腔鏡手術も含む） ※ 腹部、心臓、呼吸器、頭部、運動器（椎体（背骨）、関節など）	
7 重篤な病気または体調不良をおこす恐れがある方 ○1年以内の発作（脳血管疾患、虚血性心疾患、不整脈、てんかん） ○未治療または治療を継続していない糖尿病 ○脳圧亢進でシャント中 ○大動脈瘤（治療中または未治療）○メニエール病（治療中または自覚症状がある）	
8 透析中、心不全、慢性腎疾患等で水分制限がある	
9 呼吸困難や肺炎をおこす恐れがある方 ○過去にバリウムが気管に入ったことがある ○喘息発作がある ○普段からむせやすい ○在宅酸素療法中	
10 撮影台から転落の恐れや撮影が困難な方 ○自立歩行が困難、または撮影台の手すりを握ることが難しい ○検査のための体位変換（寝返り）ができない ○体重が130kg以上 ○認知症などで、指示通りに動くことが困難である	
11 妊娠中または妊娠していると思われる方 ※女性のみ	

この質問票は、「胃X線検診安全基準」（発行：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部）を参考に作成しています。

検診当日（本日）の体調などにより受診することができません。

質問項目	チェック欄
12 ひどい便秘症（検診日を含まず3日間排便がない）	
13 体調不良である	
14 血糖を下げる薬を服用した。またはインスリンを注射した	
15 インスリンポンプや持続グルコース測定器を装着していて外すことが出来ない	
16 食事をしてから10時間以上経っていない	

1～16の質問事項に該当する項目がない場合は✓を入れてください。 →

※ ただし、検診当日（本日）、健診会場で測定した血圧値が、最高血圧 180mmHg 以上または最低血圧 110mmHg 以上、脈拍数 30bpm 以下または 140bpm 以上の場合は、胃がん検診を受診できませんのでご了承ください。

上記の内容に相違はありません。

氏名 _____

◇胃がん検診前日・当日のご注意◇

- 前日の夕食は、検診受付の10時間前までに済ませてください。
就寝までの飲水制限はありませんが、飲酒はお控えください。
- 当日の朝食は摂らないでください（検診が受けられなくなります）。
- 検診受付の2時間前までであれば服薬や熱中症予防のための飲水（コップ一杯程度）は、差し支えありません。

○服薬

服用	薬の種類	方法
×	糖尿病薬 (血糖降下剤・インスリン)	絶対に服用しないでください (低血糖発作の恐れがあります) ※服用した場合、受診できません
○	その他の常用薬 (血圧・不整脈・心臓病など)	起床後早めに服用してください

- 画像不良の原因となるため、入れ歯安定剤は検診終了まで使用しないでください。
- 服装は、ボタンや金具、刺繍のないもの（無地のTシャツなど）を着用し、腹部を締め付ける衣服はお控えください。

—胃がん検診について—

胃がんは我が国の死亡原因の上位に位置するがんです。胃がん検診は統計的に死亡減少効果があることが認められています。継続的に検診を受けることが重要です。また、要精密となった場合には必ず精密検査を受けてください。

精密検査の方法は、内視鏡検査が基本となっています。

(※精密検査結果は当協会と精密検査医療機関で共有しています。)

この検診で「異常なし」と判定されても、がんを100%否定するものではありません。がんがあるのに見つけられない（偽陰性）や、がんが無いのにある（偽陽性）と判断されることがあります。自覚症状がある場合は医療機関を受診してください。

